

東遊園地にぎわい拠点施設運営事業 提案書（公募施設等計画）の概要

東遊園地の将来ビジョン みんなのキャンパス

大学のキャンパスのように日ごろから通い、さまざまな文化を学び体験することで、人びとが新しい価値を創造し、交流する未来をめざす。また、神戸らしいライフスタイルを体験する場として、東遊園地がインバウンドも含めた来街者にとって訪れたい公園へと進化させる。



- ◆ 構成企業 ◆
株式会社村上工務店・一般社団法人リバブルシティイニシアティブ・株式会社ティーハウス建築設計事務所
- ◆ 初期投資：約1.7億円

重点ポイント

- ◆ 市民によるレクチャー発信やイベント主催者側への参画など、市民が育てる公園を実現。
- ◆ 市民のステージとしてのエリアづくりの中核を担い、歩きたくなるまちづくりに貢献。
- ◆ 2015年からの社会実験の成果を踏まえ、多様な規模の会場として利用しやすい施設計画。
- ◆ 文化発信の拠点づくりのため、大規模イベントに加え、日常的な学びのプログラムを多数開催予定。
- ◆ 東遊園地の園地全体、及び周辺エリアの活性化をめざした企画・運営・広報を検討。

拠点施設の概要

- ◆ 施設名：URBAN PICNIC（アーバンピクニック）
- ◆ 施設コンセプト：公園のアクティビティのハブとなるシェイド空間「BIG TARP」（ビッグタープ）
- ◆ 営業内容：イベント・プログラムに利用するスペースレンタル、及びテイクアウト形式のカフェ
- ◆ 延床面積：240㎡
- ◆ 階数・構造：1階・鉄骨造

周辺園地の整備

拠点施設の周囲の園地を構成企業が整備（※）し、公園管理者である神戸市役所に引き渡す。

（※ Park-PFI制度上の特定公園施設。但し、神戸市役所は整備費の一部を負担する。）

- ◆ 園地整備の内容：芝生ガーデン、アウトドアライブラリー、デッキテラス等
- ◆ 整備面積：978.49㎡

※以上はすべて事業者からの提案内容であり、今後事業者との協議の上、変更されることがあります。